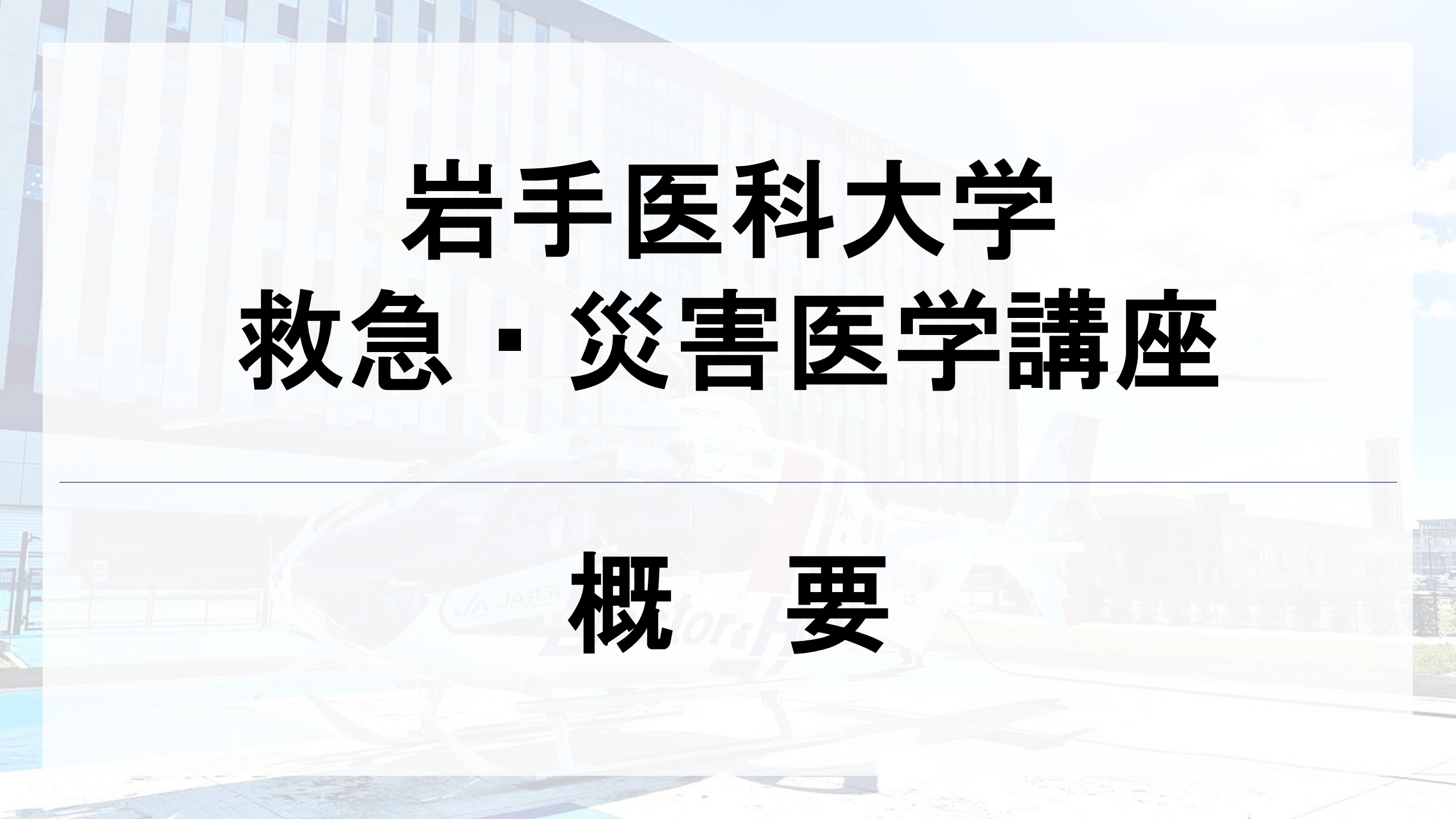


The background of the slide features a blurred image of a modern hospital building with a grid-like facade. In the foreground, a white medical helicopter is parked on a tarmac. The helicopter has "JA 共済" (JA Kyosai) and "Doctor-H" written on its side, along with the number "80135".

岩手医科大学 救急・災害医学講座

概要

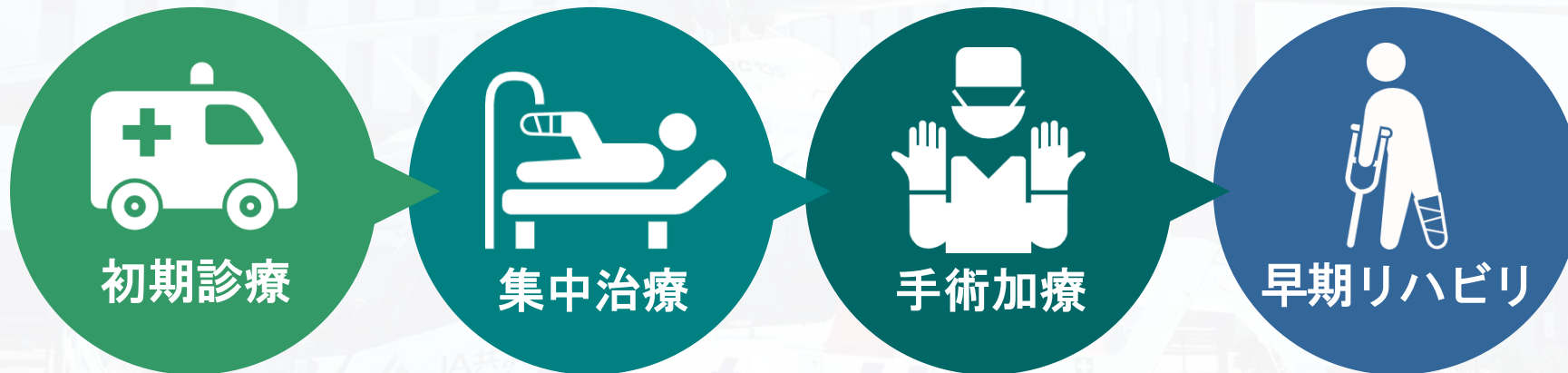
救急集中治療の臨床的意義

複数の診療科が、
それぞれ独自の治療法を無秩序に展開してはならず、
独立科が治療戦略を立て、初期治療から手術、全身管理、
早期リハビリまで一貫して行うことが重要である。

集中治療専門医テキストより抜粋

岩手医科大学 救急・災害医学講座の特徴

日本に18カ所しかない
自己完結型高度救急センター



初療-根治術-全身管理
全て救急科内で迅速・円滑に完結的に行うことが可能

岩手医科大学 岩手県高度救命救急センター

- ・ 昭和55年に講座として設立
- ・ 大学と県との民官合同
- ・ **自己完結型救命センター**
- ・ 全国で7番目の高度認定
- ・ 北海道・東北で最初の高度認定

外因性/搬入件数：

1243 / 3403件

手術件数：

年間約 **502** 件

(腹部外科19%、脳外科11%、整形軟部70%)

フライト件数：

421 回/年(2022年度)

岩手医科大学 救急専攻医プログラム

救急専門医を最初に取得後、救急に専従しながらその他の専門医を取得できるプログラム

A. 救急専従外科系専門医プログラム

B. 救急専従内科系専門医プログラム

岩手医科大学 救急専属内科専攻医プログラム

救急センターで専従し働きながら内科専門医を先に取得できるプログラム

義務年限返還プログラム

義務年限返還プログラム

救急センターで1年返還可能

その他上記のプログラムと併わせて効率よく返還
優遇措置検討中

卒後すぐに救急医療を学ぶメリット

- 最初に救急医療を学ぶことで、急変対応能力や総合的知識が身につく。
- 急変患者を適切な処置で死なせないというのは医師としての強みになる。
- 医師6年目で救急専門医取得するため、セカンドスペシャリティ取得までに動向を見定め、その後のキャリアプランを練る猶予ができる。

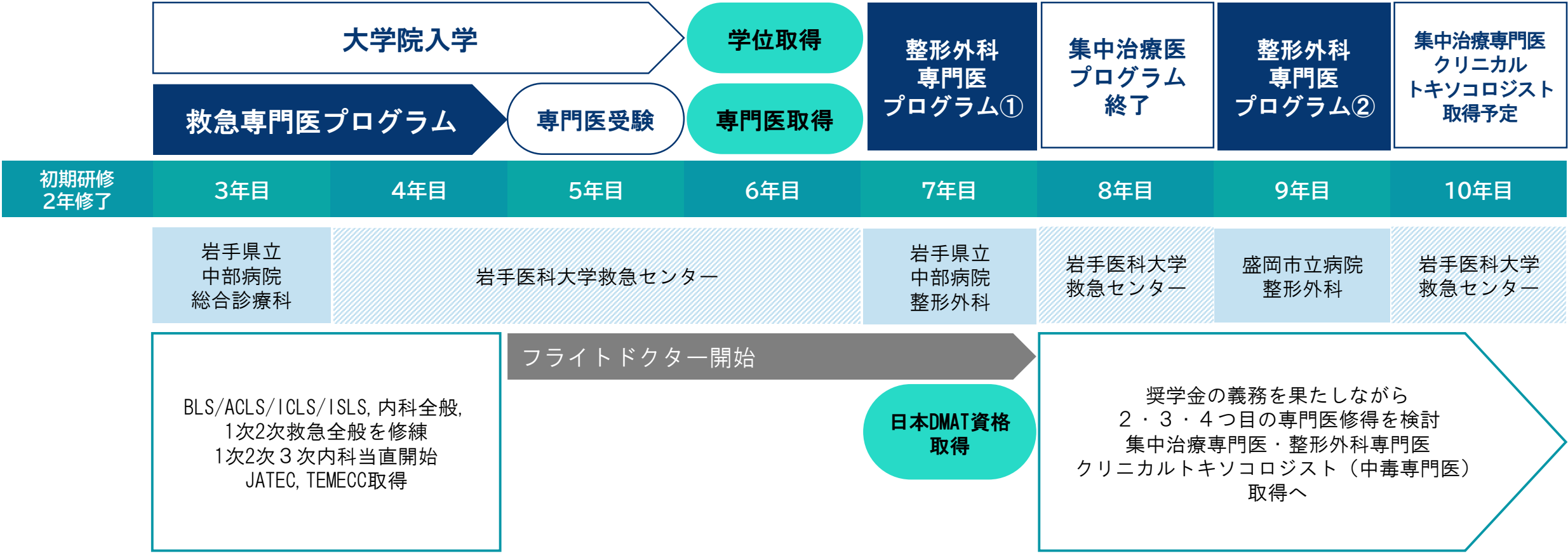
キャリアプランについて

- 卒後3～5年は専門医プログラムに乗る形になるが、**基本的には自分のやりたいことを優先できる。**
- 例) 消化器内科・中毒を通年、循環器内科3ヶ月、神経内科4ヶ月、整形外傷2年
- 学内留学も可能（岩手医科大学心臓血管外科、整形外科、外科、各種内科）
- 国内外留学も可能
- **救急専門医取得後、他科で研修・専門医をとることも可能**

キャリアプラン例

義務返還年限 6年／12年

実家開業なし 岩手出身



ライフワークバランスについて

- 勤務形態は一般の診療科と同じであるが、時間外の入院・診療があるため、勤務時間は長くなる傾向にあり。
- 救急センターでは当直翌日の診療は基本的に免除されるため、**メリハリを持って仕事ができる。**
- 若い頃は症例的にも手技的にも恵まれる傾向にある。
- 健康や家庭への影響を考慮しながら、ある程度“若いうちの苦労は買ってでもしろ”のスタンスで経験を積むことが、**ゆくゆく自身の臨床能力が上昇し、患者さんへ還元できる。**

出産・育児関連

- 基本的に**有事は家庭優先を推進**
(人数がいるためお互いに補完しあって対応している。)
- **男性も産育休取得推奨**
(産後2週程度産休制度をつかえば長期も可)
- プログラム中の産休・育休に関しても全力でサポート
(希望があれば育休明け研修なども予定)

救急科か他の診療科で迷っている

救急科を選んで後悔はしないと思います。

救急医になることを決めていて、どこで研修するか迷っている

是非、岩手医科大学救急・災害医学講座、岩手県高度救命救急センターで研修を検討してみてください。

希望があれば随時見学・実習可能です。

人の役に
立ちたい

家族や院外で
急変した人を
助けたい

人工呼吸器
透析・ECMOなど
デバイスに
興味がある

ドクターヘリ
ドクターカー
に乗りたい

救急診療・診断の
スペシャリスト
になりたい

重症患者を
救いたい

災害医療で
活躍したい

患者だけでなく
家族のケアもできる
医師になりたい

臓器別ではなく
総合的な知識で
治療をしたい

学びと実戦がひとつになる Do. Learn. Grow.

私たちと救急救命のスペシャリストを目指して一緒に頑張りましょう！